

## 平成27年度 鳥取県環境白書

### 6 美しい景観の保全ととっとりらしさを活かした街なみづくりの推進 6-1 美しい景観の保全と創造

## 01 景観まちづくり活動団体サポート事業

### 施策

#### 1 事業の目的

地域の景観まちづくり団体の活動をサポートし、地域の景観資源を活用した、地域が主体のまちづくり活動を促進する。

#### 2 事業の内容

##### (1) 相談対応及び情報提供

- ・活動団体の相談対応を通じて、活動に係る課題、ニーズを把握するとともに、必要に応じて県の支援策等の情報提供を行う。
- ・団体概要及び活動等をとりネットに掲載する。
- ・メーリングリストを活用した適時の情報提供及び情報交換。

##### (2) 意見・情報交換会の開催

- ・活動団体の活動発表、情報共有及び連携体制の構築に資する場を設けることにより活動の促進、円滑化を図る。

##### (3) 活動団体の情報発信

#### 3 事業の現状及び課題

##### (現状)

- ・景観まちづくりに取り組む団体を対象にしたアンケート(H26実施、回答数27団体)において、ほとんどの団体が何らかの活動上の課題を抱えている中、資金面の課題が最も多く、次いで人材の不足、ノウハウ・知見の不足と続いた。
- ・県の団体登録制度へは、関連制度、イベント等の情報提供を望む声が多く、団体間の交流及び市町村との協働連携についても相当数の団体が望んでいた。

### 実績

#### 平成27年度実績

活動団体の登録 登録数:70団体

### 連絡先

生活環境部 暮らしの安心局 住まいまちづくり課 企画担当 電話0857-26-7364

### 参考URL

作成中

## 平成27年度 鳥取県環境白書

### 6 美しい景観の保全ととっとりらしさを活かした街なみづくりの推進 6-1 美しい景観の保全と創造

## 02 景観行政費

### 施策

#### 1 事業の目的

景観法に基づく届出制度及び新景観形成条例に基づく制度の運用、その他景観形成施策の総合的な推進と自発的な景観形成活動の促進を図ることにより、良好な景観の保全と創造に努める。

#### 2 事業の内容

景観形成条例の改正、景観計画の策定により景観法に基づく届出制度へ移行したことから、事務処理の流れや審査基準など制度の周知徹底が必要となっている。

##### (1) 景観形成条例、景観計画の制度周知・運用

景観法に基づき、一定規模以上の建築物の建築等、工作物の建設等、開発行為、土地の開拓、土石の採取、鉱物の掘採、木竹の伐採などをするときに、事前の届出を義務づけるとともに、景観計画に定められた基準に適合しない場合は勧告、公表、変更命令等の必要な措置を講じる等の行為規制を実施する。

##### (2) 鳥取県公共事業景観形成指針の運用

県が公共事業を行うに当たって遵守すべき景観形成のための指針を制定。この指針に従って、県の公共事業の実施の際、基本設計、詳細設計、施工、維持管理の各段階で「景観評価」を実施する。

##### (3) 景観形成巡視員

無届行為の発見及び通報、景観上問題の届出済み行為の発見及び報告のため各市町村に景観形成巡視員を配置する。(鳥取市、倉吉市、米子市、三朝町、智頭町を除く市町村)

##### (4) 景観アドバイザー派遣

県が一定規模以上の公共事業を実施する際、各分野の専門家である景観アドバイザーの助言、意見を求め、良好な景観形成を図る。

##### (5) 市町村の景観行政団体への移行

景観行政の中心的な役割を担う市町村が景観行政団体となり積極的に景観形成に取り組むよう移行を促進する。

#### 3 事業の現状及び課題

景観形成施策を行うことができる景観行政団体は現在、鳥取市、倉吉市、米子市、三朝町、智頭町の5団体であるが、良好な景観形成に関する具体的な施策は、住民に身近な市町村が中心的な役割を担うのが望ましいことから、今後さらに市町村の景観行政団体への移行を促進する必要がある。

### 実績

#### (1) 景観形成条例に基づく届出実績(111件)

- ・届出状況(55件)
  - 建築物の新・増・改築、移転及び外観の変更－35件
  - 工作物の新・増・改築、移転及び外観の変更－16件
  - 土石の採取・鉱物の採掘－1件
  - 開発行為、土地の形質の変更－3件
- ・通知状況(56件)
  - 建築物の新・増・改築、移転及び外観の変更－2件
  - 工作物の新・増・改築、移転及び外観の変更－54件

## (2) 景観形成巡視員の活動実績

・配置人員 鳥取市、倉吉市、米子市、智頭町、三朝町を除く市町村に計15名配置  
・巡視状況 2ヶ月ごとに実施。報告書提出。

## (3) 景観アドバイザーによる景観評価実績

・評価・助言件数 13回(延べ56人)

・派遣内容

○公共施設等建築工事に係る景観形成上の助言

○林道整備事業に係る景観形成上の助言

○道路整備事業に係る景観形成上の助言 他

## 連絡先

生活環境部 暮らしの安心局 住まいまちづくり課 景観・建築指導室 景観担当 電話  
0857-26-7363,7371

## 参考URL

鳥取県景観まちづくり課のwebサイトより

「景観法に基づく届出制度」 <http://www.pref.tottori.lg.jp/47458.htm>

「公共事業の景観形成について」 <http://db.pref.tottori.jp/keikanhyouka.nsf>

「景観アドバイザーについて」 <http://www.pref.tottori.lg.jp/47452.htm>

## 平成27年度 鳥取県環境白書

### 6 美しい景観の保全ととっとりらしさを活かした街なみづくりの推進 6-2 歴史的、文化的街なみの保存と整備

## 01 地域資産・資源の保全活用

### 施策

#### 1 事業の目的

かつての街道や宿場町等の風情のある伝統的なまちなみや、左官職人による伝統技術を活かした「鏝絵、なまこ壁」等の地域資産の保全・活用・情報発信を図る。

#### 2 事業の内容

- ・街並み環境整備事業(国交付金)及びととりの美しい街なみづくり事業(予算額:2,720千円)による景観保全
- ・景観まちづくり活動サポート事業による地域の景観まちづくり団体の活動サポート

#### 3 事業の現状及び課題

- (1)伝統的なまちなみの多くが、民家の解体や、プレハブ住宅等の洋風住宅の建設が虫食い的なされたり、道からの後退距離がまちまちに建築されるなど、美しい景観を構成する要素が失われることにより、統一性が無く、没個性的なまちなみとなりつつある。
- (2)景観まちづくりに取り組む団体を対象にしたアンケート(H26実施、回答数27団体)においては、ほとんどの団体が何らかの活動上の課題を抱えており、また、関連制度、イベント等の情報提供を望む声、団体間の交流及び市町村との協働連携を望む声が多くあった。

### 実績

- (1)市町村、地域団体・住民が連携して美しい街なみの整備、修景等を実施
- ・国交付金「街なみ環境整備事業」を実施する市町村に対して県の上乗せ補助。  
倉吉市 倉吉打吹地区 実績額:1,108,000円  
大山町 大山アルペンライン地区 実績額:513,000円
- (2)景観まちづくり団体に対してメーリングリスト等でのイベント情報の提供や、各種補助金説明会の際にメーリングリストへの登録呼びかけ

### 連絡先

生活環境部くらしの安心局住まいまちづくり課企画担当 電話0857-26-7364

### 参考URL

## 平成27年度 鳥取県環境白書

### 6 美しい景観の保全ととっとりらしさを活かした街なみづくりの推進 6-2 歴史的、文化的街なみの保存と整備

## 02 鳥取県伝統建築技能者団体活動支援事業

### 施策

#### 1 事業の目的

伝統的な木造建築物の維持、保全を行う伝統継承者の育成を図る。

#### 2 事業の内容

木造建築に携わる建築大工、左官、板金及び建具の技能士により組織される団体が  
行う、(1)から(4)の事業に要する経費に対して助成

##### (1) 研修等事業

伝統技能の継承を目的とした研修会、会議の開催又は参加

##### (2) 競技大会経費

県内外で行われる技能競技大会への参加又は県内での競技大会の開催

##### (3) 技能振興活動

伝統技能の振興を目的とした展示会、ものづくり体験教室等の開催

##### (4) 鏝絵なまこ壁に関する事業

技能振興活動、研修等事業、技能競技大会

#### 3 事業の現状及び課題

県内の木造建築の着工数は減少し続けており、大工・左官等の建築に携わる職人の  
減少及び高齢化が進み、後継者不足は深刻化している。

### 実績

団体名	事業区分	事業内容	事業費と交付決定額
鳥取県建具組合 連合会	・研修等事業 ・技能振興事業	・全国建具組合鳥取大会におけるミ ニ障子製作体験のキット作成 ・建具技能(組子)講習会の実施	事業費:827,247円 補助額:500,000円
鳥取県板金工業 組合	・研修等事業 ・技能振興事業	・建築板金技能士育成講習会(学 科、実技)の実施 ・鳥取県技能祭への出展	事業費:1,340,510円 補助額:500,000円
鳥取県左官業協 同組合	・研修等事業 ・技能振興事業	・鳥取県技能祭への出展 ・伝統工法(鏝絵、なまこ壁)講習会 の実施	事業費:1,177,454円 補助額:1,000,000円
鳥取県建築連合 会	・技能振興事業 ・研修等事業	・各種イベントでの木工教室、実演 等の開催 ・伝統工法講演会の開催	事業費:583,011円 補助額:500,000円
一般社団法人鳥 取県建築技能近 代化協会	・研修等事業 ・技能振興事業	・伝統工法見学会、講演会の開催 ・木の住まいフェア等への出展(木 工教室)	事業費:1,465,106円 補助額:1,000,000円

### 連絡先

生活環境部 暮らしの安心局住まいまちづくり課 企画担当 電話0857-26-7364

### 参考URL

鳥取県住まいまちづくり課のwebサイトより

「まちづくりの推進」<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=47548>

## 平成27年度 鳥取県環境白書

### 6 美しい景観の保全ととっとりらしさを活かした街なみづくりの推進 6-2 歴史的、文化的街なみの保存と整備

## 03 「とっとり匠の技」活用リモデル事業

### 施策

#### 1 事業の目的

伝統的な木造建築物の維持保全に携わる建築大工、左官及び建具技能士の伝統技能を活用した建物の改修等を支援することで、職人技の活用を創出し、技能の継承及び既存ストックと空き家・空き店舗の有効利用を促進する。

#### 2 事業の内容

##### (1) 伝統技能活用助成(補助金)

伝統技能を活用した建築物(住宅を除く)の様様替えに係る経費の一部を助成する。

##### ○助成要件

【基本助成】県内に主たる事務所を有する業者に所属する、又は個人である一級又は二級の技能士(大工・左官・建具)が行う10万円以上の改修工事であること。

【追加助成】基本助成要件を満たした上で、改修部分の床面積が7m<sup>2</sup>以上の内部改修工事又は外部改修工事を伝統技能のうち2種以上を活用して施工するもの。ただし、各要件に規定する面積の2倍以上の改修を行う場合は1種。

##### ○補助率

【基本助成】2分の1(県2分の1、所有者2分の1)

【追加助成】2分の1(国4分の1、県4分の1、所有者2分の1)

##### ○補助額

【基本助成】上限5万円

【追加助成】上限45万円(伝統技能のうち2種(1種)以上の活用に係る経費)

##### 補助対象項目及び補助単価

補助対象項目	補助単価		
基本助成 内部及び外部改修工事	50千円/件		
追加助成	内部	大工技能(造作)7平方メートル以上	11千円/平方メートル
		左官技能(漆喰等)7平方メートル以上	13千円/平方メートル
		建具技能3平方メートル以上	19千円/平方メートル
	外部	大工技能(外壁)7平方メートル以上	13千円/平方メートル
		左官技能(外壁)7平方メートル以上	13千円/平方メートル
		左官技能(塀)7平方メートル以上	12千円/平方メートル

##### (2) リーフレット作成委託

制度の周知が進んでいない現状から、現在作成しているリーフレットを見直し、活用事例等を掲載したリーフレットを作成することで、事業者及び消費者等の幅広い利用者へ制度PRを行う。

(デザイン、版下作成)

#### 3 事業の現状及び課題

・平成25、26年度は申請が伸び悩み、利用件数は両年度ともに1件に留まった。9月議会での一般質問(追及)の国岡議員の議会質問で取り上げられたように、より使いやすい制度への改正が望まれていたところであり、制度改正により使いやすくなったことをPRし、利用促進に繋げる。

・魅力あるリーフレットを作成し、利用促進に効果的な場所等への配架について留意する。

## 実績

### 【活用実績】

- 大工技術の活用
  - ・申請日 平成27年12月24日
  - ・場所 鳥取県鳥取市湯所町
  - ・申請額 500,000円
  
- 建具技術の活用
  - ・申請日 平成28年3月7日
  - ・場所 鳥取県鳥取市湖山町
  - ・申請額 50,000円

## 連絡先

生活環境部 暮らしの安心局 住まいまちづくり課 企画担当 電話0857-26-7364

## 参考URL

<http://www.pref.tottori.lg.jp/220200.htm>

## 平成27年度 鳥取県環境白書

### 6 美しい景観の保全ととっとりらしさを活かした街なみづくりの推進 6-2 歴史的、文化的街なみの保存と整備

## 04 とっとりの美しい街なみづくり事業

### 施策

#### 1 事業の目的

国庫交付金事業(街なみ環境整備事業)を活用して街なみの整備を行う場合に民間事業者(個人を含む。)の費用負担軽減を行うことで、とっとりの美しい伝統的な街なみを保全し、地域の歴史や文化に根ざした個性的な街なみを残す取組みを促進する。

#### 2 事業の内容

街なみ環境整備事業を実施する市町村に対し、補助金を交付する。  
(予算額:2,720千円)

#### 3 事業の現状及び課題

- (1)伝統的な民家が解体され更地になっていたり、プレハブ住宅や、洋風住宅が伝統的な民家の間に挟まれるように建築され、住宅の道路からの後退距離がまちまちに建築されており、これまで維持されていた地域の街なみが統一性のない、地域の歴史や文化が感じられない没個性的なものとなってきている。
- (2)良好な美観を有する街なみをつくるため、県内で数カ所が街なみ環境整備事業を実施しているが、個人住宅修景整備については所有者の事業費負担が困難で整備が進まない状況もある。

### 実績

- (1)市町村、地域団体・住民が連携して美しい街なみの整備、修景等を実施  
・国交付金「街なみ環境整備事業」を実施する市町に対して県の上乗せ補助。  
倉吉市 倉吉打吹地区  
大山町 大山アルペンライン地区

### 連絡先

生活環境部くらしの安心局住まいまちづくり課企画担当 電話0857-26-7364

### 参考URL



## 平成27年度 鳥取県環境白書

6 美しい景観の保全ととっとりらしさを活かした街なみづくりの推進  
6-2 歴史的、文化的街なみの保存と整備

### 05 史跡妻木晩田遺跡保存活用事業

---

#### 施策

##### 1 事業の目的

国史跡妻木晩田遺跡整備活用基本計画に基づき、遺跡の環境整備及び遺跡の解明のための発掘調査を実施し、併せて弥生時代の暮らしを体験できる事業を行うなど、多くの人に活用してもらうための普及啓発活動を行う。

##### 2 事業の内容

- (1) 保存整備事業  
基本計画に基づき、環境整備工事等を実施
- (2) 調査研究事業  
遺跡の全容を解明するための発掘調査を実施
- (3) 活用事業  
各種体験事業やイベントを開催

##### 3 事業の現状及び課題

<現状>

平成23年4月にグランドオープンを迎え、展示施設である「弥生の館むきばんだ」や、復元された弥生のムラ、発掘体感ひろば施設など、二千年前を体感しながら学習・散策できる史跡公園として公開されている。

#### 実績

- (1) 保存整備事業  
見学者が安全に史跡公園内を周遊できるよう、園路を整備した。また、復元した弥生時代の建物の修理工事を行った。
- (2) 調査研究事業  
墓域の実態解明を目的に、仙谷地区の「仙谷9号墓」を発掘した。調査の結果、東西約17メートル・南北約14メートルの円形の古墳時代初め頃に造られた墓であることが分かった。
- (3) 活用事業  
史跡公園を楽しんでもらうことを目的としたイベントや、遺跡をまなび、弥生時代の暮らしを追体験するさまざまな講座を開催した。整備された弥生のムラや景観を活かした特色ある講座やイベントを通して、妻木晩田遺跡と地域の歴史への理解を深めていただくことができた。

#### 連絡先

鳥取県教育委員会 文化財課 歴史遺産室 電話0857-26-7932

#### 参考URL

むきばんだ史跡公園ホームページ

<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=41862>

## 平成27年度 鳥取県環境白書

### 6 美しい景観の保全ととっとりらしさを活かした街なみづくりの推進 6-2 歴史的、文化的街なみの保存と整備

## 06 史跡青谷上寺地遺跡保存活用事業

### 施策

#### 1 事業の目的

「史跡青谷上寺地遺跡整備活用基本計画」に基づき、史跡の公有化と活用を進めるとともに、発掘調査を実施して整備・活用に必要な情報を収集する。  
併せて出土品の再整理と調査研究を行い、その成果を発信していく。

#### 2 事業の内容

##### (1) 史跡指定地公有化・保存活用事業

○史跡の保存・整備・活用に資するため、史跡指定地を平成20年度から10力年かけて公有化

○地域住民と県・鳥取市の協働連携による史跡の維持管理・活用を目指し、史跡保存活用協議会を設立して様々な活用事業を実施

##### (2) 発掘調査事業

発掘調査、遺跡周辺調査、埋蔵環境調査などを実施し、青谷上寺地遺跡の実態解明および史跡整備に必要なデータを収集

##### (3) 出土品調査研究事業

出土品の調査研究、保存処理、レプリカ作成などを行い、活用を図るとともに情報発信も実施

#### 3 事業の現状及び課題

現地整備が完成するまでの期間に行う史跡の活用や情報発信の方法等が大きな課題。史跡保存活用協議会等で検討を行っているところ。

### 実績

##### (1) 史跡の公有地化・保存活用事業

公有化率95%。平成27年度繰越事業として、1,076.46㎡を公有地化したが、平成27年度は国庫補助不採択により、公有化事業は未実施であった。  
公有地化した土地の活用について、地元小学生による古代米田植え・稲刈り体験など、古代米栽培を中心とした遺跡の活用事業を継続するとともに、収穫した古代米を用いた「古代米グルメ・スイーツ講座」や青谷小学校親子会が参加の「古代米調理教室」の開催により、遺跡を親しみながら理解するきっかけづくりとした。青谷町内の学校給食で収穫した古代米を活用していただき、青谷上寺地遺跡の活用事業をPRした。

##### (2) 出土品調査研究事業

展示品や学校教材等で活用するための出土品の復元・彩色・再収納、調査記録類の再整理、発掘調査記録である写真類のデジタルデータ化を行った。

土曜講座は6回実施し、各回とも概ね約30人以上の参加者を得ている。

### 連絡先

鳥取県教育委員会 文化財課 歴史遺産室 電話0857-26-7932

### 参考URL

鳥取県教育委員会文化財課のwebサイトより

「とっとり弥生の王国情報発信(妻木晩田・青谷上寺地遺跡)」→「青谷上寺地遺跡の整備と活用」

→青谷上寺地遺跡ホームページ <http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=4271>